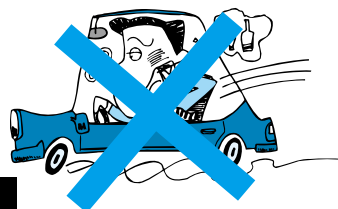


飲酒運転の根絶3か条 乗らない！ 乗せない！ 飲ませない！

年末年始にむけては、忘年会や新年会などで飲酒を伴うが増えます。

12月はじめには、警察による飲酒運転(酒気帯び運転)の全国一斉取り締まりが行われ、約350件の摘発がありました。言うまでもありませんが、飲酒運転は「重罪」であり、厳しい罰則が適用され、これまで多くの命が奪われています。気持ちが緩みがちな時期ですので、お互いルールを守って楽しく美味しいお酒を飲み、年越しをしましょう。



<飲酒運転根絶3か条>

1. 乗らない！ … 飲んだら運転しないようにしましょう。
2. 乗せない！ … 飲んだ人に運転させないようにしましょう。
3. 飲ませない！ … 運転する人に飲ませないようにしましょう。



エスカリウ冬季キャンペーン

期間：平成24年1月～2月末(2ヶ月間)

◆特徴：

- 畜舎内の湿気を素早く吸着し乾燥します。
- 速乾性により滑り止めに利用できます。
- 冬場にこもりやすいアンモニア臭を吸着し、牛の健康を守ります。
- 子牛の環境保全、下痢防止につながります。
- 静菌作用により、畜舎内を清潔に保ちます。
- 人にも牛にも土壌にも安全な環境衛生資材です。
(土壌には、ケイ酸土壌改良材として有効的です。)

- ◆内容：5袋購入毎に1袋添付
- ◆価格：1,386円/袋(税込)
- ◆成分：主成分：ケイ酸カルシウム
pH : 9～10
吸水性：重量比で同量
粒 度：1.2mm以下

注文は本所事業推進課、事業所・倉庫までお願いします。

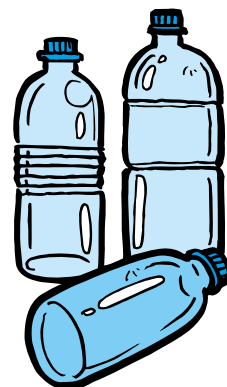
廃プラスチック回収のお知らせ

平成23年度第4回目の回収を次のとおり行います。回収希望者は、最寄りの回収場所に時間厳守のうえ持ち込み下さい。なお、各回収日前日迄に申込書を本所事業推進課、又は各事業所へ提出下さい。申込書は最寄りの事業所に備えております。

問い合わせは、事業推進課又は最寄りの事業所までお寄せ下さい。

1. 回収場所及び回収日時

回収場所	回収日
高宮ミルクボーイ	1月23日(月)
西部事業所	1月24日(火)
東部事業所	1月25日(水)
みわTMRセンター	1月26日(木)
庄原TMRセンター	1月27日(金)



2. 回収時間：何れの回収場所とも午前11時～午後3時まで

年末年始の業務状況は下表のとおりです。

■ 12月27日から1月4日までの業務状況

事業場名	27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)
三次CS	営業								
本所	営業			休日	休日	休日	休日	営業	
西部事業所	営業							営業	
東部事業所	営業							営業	
高宮MB	営業							営業	
久井倉庫	午前営業	休業	午後営業					休業	
福山倉庫	午後営業	休業	午前営業					営業	
ミルクファームHARU	営業							営業	
みわTMRセンター	営業							営業	
庄原TMRセンター	営業			営業					

山延伊久江さんがDMSを語る 酪農経営をテーマに第18回酪友フォーラム開催

12/1～2 夢海遊淡路島(兵庫県洲本市)



(パネルディスカッションの様子)

西日本酪農青年女性会議は、「西日本から酪農を元気にしましょう！」をテーマに第18回酪友フォーラムを開催し80名が参加した。

広酪メンバーズクラブからは宮地健司委員長をはじめ、山延伊久江さん、事務局(事業推進課)から櫻木茂夫課長補佐、伊藤泉技師の4名が参加した。

開会にあたり二若(ふたわか)信彦委員長は「このフォーラムが明日からの経営に向けてのヒントやアイデアとなるよう有意義なものになることを願う」と挨拶され、淡路島酪農業協同組合の池田進代表理事組合長からは「酪農は日々の管理が大切であり、優秀農家は女性(お母さん)がしっかりやられている所が多い。是非とも今回の研修を活かしてもらいたい」と歓迎して挨拶された。

■第1部「西日本から酪農を元気にしましょう！～特に生産性を上げるには～」

函城(はこぎ)悦司氏〈(株)微生物科学研究所〉は、「牛も人も健康であることが第一条件。儲けるためには①病気をさせない、②F1子牛・乳用雄子牛などの副産物を高く売る、③沢山の乳を搾ることの3つが重要。低コストと省力化、飼養環境の改善の妥協点を探り当てて安定させることで、ロスを最小限に抑えることがポイント」と指摘された。



(第2部で講演する丹戸氏)

■第2部「ゆでガエルにならないための酪農経営」

丹戸靖氏〈全酪連購買部酪農生産指導室〉は、「ゆでガエル理論とは、急な変化には対応できるが僅かな変化には気づかず、それが蓄積して致命傷を負うことにある。

酪農経営において、そうならないためには「記録」が重要である。経営継承対策として、①資産の引継、②経営能力の養成、③経営者引退後の生活をどうするかを3つを考える必要がある。経営管理をするために経営と家計の区分をすることが重要」と指摘した。

■第3部「DMSを語るパネルディスカッション」

「ゆでガエルにならないための酪農経営～家と経営を考える～」をテーマにパネルディスカッションが行われ、コーディネーターに三輪達雄氏(全酪連購買部酪農生産指導室)、パネラーの山延伊久江さん、大松弘美氏(徳島県)、向日登美氏(徳島県)、丹戸靖氏(全酪連)らが討論された。

徳島県では、酪農家で作るグループが定期的に勉強会を開いていることやアンケート調査結果に基づき、経理記帳状況や経営継承時期についてパネラーの意見が求められた。